

文化省創設について論議された文化芸術推進フォーラムのシンポジウム



昨年十一月十二日、東京美術倶楽部において、文化芸術推進フォーラムのシンポジウム「文化省創設への道筋」が文化芸術振興議員連盟主催により開催されました。

この刀剣界紙上でもたびたび紹介された同フォーラムのシンポジウムは、昨年のタイトル「文化省の創設を考える」から「創設への道筋」へと変わり、その実現へ一歩近づいたことを物語っています。

別掲の進行表の通り登壇があり、それぞれの演者から、わが国の優れた文化芸術を国民生活向上や社会経済発展の重要要素とし、国の活力を生み出し、文化交流を通じて世界平和に貢献していくための、さまざまな課題

が取り上げられました。また、先進国の中で水をあけられている文化政策ですが、人員・予算面でも、芸能、芸術、映画、音楽、文化産業、知的財産保護、観光など多方面の拡充策が指摘され、現在の文化庁を「省」に格上げする必要性が確認されました。

このフォーラムの美術商分野は、全国美術商連合会(全美連・浅木正勝会長)が担っています。株式会社東京美術倶楽部の現会長でもある浅木氏は、各方面に幅広く接触し、業界の社会的信頼を高め発展を図ることも、わが国の文化芸術振興に寄与すべく、活動を積極的に続けています。

そして、全国刀剣商業協同組合の深海信彦理事長は、全美連に理事として参加。全国五都(東京・大阪・京都・名古屋・金沢・富山)美術商協同組合をはじめ、洋画・現代版画・浮世絵・現代美術など各方面の代表

と席を並べています。

以前、当組合より全美連の組織力・発言力を強めるために加入のご案内をしたのも、この組織活動に協力する一環です。刀剣業界からは特に多くの組合員とその従業員の入会に結びつき、感謝の声が聞かれています。

文化省への格上げによる文化政策の向上や、業界が直面する諸問題の解決と円滑な経済活動のためにも、社会的信頼を築きながら地位と組織力の向上が必要となるのではないのでしょうか。

(伊波賢一)



挨拶する全美連・浅木会長

シンポジウム「文化省創設への道筋」を開催 期待される全美連の組織力向上

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



2016.3.15 No.28
 発行人 深海信彦
 発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
 新宿スカイプラザ1302
 TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
 http://www.zentosho.com/

第28号編集担当
 赤荻 稔 飯田 慶雄 伊波 賢一 大西 芳生
 大平 将広 木村 隆志 嶋田 伸夫 清水 儀孝
 生野 正 瀬下 明 瀬下 昌彦 土子 民夫
 網取 譲一 土肥 富康 服部 暁治 深海 信彦
 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏

全国中小企業団体中央会 『中小企業と組合』が取材に来訪

当組合が所属する全国中小企業団体中央会(以下、中央会)は、全国約二万七千の中小企業組合から構成され、それらの組合の傘下企業は実に二七二万五千を数えます。日本の中小企業の約七割を擁するわが国の最大の中小企業団体です。中小企業の振興発展と、中小企業の組織化の推進を目的とし、会員企業を支援していくことを業務としています。

当組合も設立以来何かとお世話になっており、中央会に対しては組合活動の報告なども随時行っております。

その中央会が発行する月刊機関紙『中小企業と組合』に、当組合の日々の活動を掲載し、中央会会員の組織や多くの企業へ紹介したいとの申し出をいただきました。

昭和二十四年の創刊以来、現在八五二号と長い歴史ある機関紙で、企業を取り巻く環境、金融、税制、労働環境、組合運営など激変する経済環境を乗り切るための記事や情報が、学識経験者や業界の実務者によって毎号取り上げられています。

その機関紙の「組合交差点」に掲載する予定とのこと。二月三日、中央会・経営支援部と政策推進部の方々より取材を受けました。組合からは深海理事長、清水専務理事、筆者の三名にて対応させていただきました。当日の取材内容は次の通りです。

- 当組合の設立経緯と目的
- 設立後の経過
- 組合活動
- 内外経済の刀剣業界への影響
- 今後の課題と目標

設立の経緯とその後については、深海理事長が当初から深く関わっていましたので、詳しく説明していただきました。

中央会の方が刀剣業界の話聞いて、「多くの組合や企業を取材していますが、今までにない興味深い話題が多く、楽しい取材で時間を忘れてしまいます」と話されていました。結局、取材は二時間半にも及びました。当組合が逆に中央会を取材する場面も多々あり、終始和やかな雰囲気でした。

中央会機関紙『中小企業と組合』四月号に当組合が紹介されることは、全国のあまたの企業へ刀剣業界の存在をPRする大変有意義な機会です。この度の取材の依頼は、設立から二十八年間、地道に活動を積み重ねてきた当組合と、多くの組合員への信用の表れではないかと思えます。

(嶋田伸夫)

主催者挨拶：野村 萬(能楽師)
 進行：浮島智子(公明党)
 講演：遠藤利明(東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、自民党)
 問題提起：伊藤信太郎(自民党)
 パネリスト：逢沢一郎(自民党)、枝野幸男(民主党)、高木美智代(公明党)、松野頼久(維新の党)、市田忠義(共産党)、河村建夫(議員連盟会長、自民党)

まとめ：河村建夫(議員連盟会長、自民党)

刀剣・書画・骨董

和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
 TEL 0258-33-8510
 FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

美術刀剣・刀装小道具商

やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
 年間10回位発行予定
 購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
 TEL 042-463-5310
 FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

柳匠堂

柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八
 TEL 〇八六二二二二二二二
 工房 岡山市北区磨屋町七二二
 TEL 〇八六二二二二二二二
 FAX 〇八六二二二二二二二

刀剣古美術

町田久雄

三峯美術店

埼玉県秩父市野坂町一十六一
 西武秩父駅連絡通路町久ビル内
 TEL 〇四九四一三三三〇六七
 FAX 〇四九四一三三三〇六七

美術刀剣、小道具、武具類の
 売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会

吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七一
 TEL 〇六一六六三一三二二〇
 FAX 〇六一六六四四一五四六四

伊波常務・清水専務が表彰される



表彰状を授与される清水氏

当組合常務理事伊波賢一氏と専務理事清水儀孝氏が、それぞれ表

彰されましたので、紹介します。

伊波氏は十一月十七日、メルパルク東京(芝公園)にて芝税務署より署長「表彰」されました。これは、所轄内で申告納税制度の周知と実施を促す活動に尽力した法人会や青色申告会、間税会など関係五団体に対し、財務省の表彰規定によってなされるもので、今回は五名が表彰されました。

式典には武井雅昭港区長、本間愛宕警察署長はじめ各税務団体の長が来賓として迎えられ、厳粛に執り行われました。

伊波氏は早くから法人会青年部会や地区の役員を務められ、申告

納税制度の普及に貢献し、三年前、署長「感謝状」を授与されています。今回の表彰により、税務署内の廊下に金属のネームプレートが掲示されるそうです。

清水氏は十二月三日、浅草警察署において表彰されました。これは、長年にわたり地域防犯に多大な貢献をし、浅草を安全で暮らしやすい町に導いたとして贈られたものです。当日は清水氏を含め七名が、浅草警察署長より表彰状と記念品を授与されました。

この度は誠にありがとうございます。お二人のますますの活躍を期待します。(生野 正)

■全刀商の活動 多様なニーズに応える評価査定部会

全国刀剣商業協同組合の委員会は、経済委員会(市場運営部会・共同販売及び共同販売促進部会)、金融委員会(金融部会・評価査定部会)、総務部会(共同宣伝部会・調査研究部会・教育及び情報に関する部会・防犯対策部会・福利厚生部会)等から構成されます。

その中の金融委員会(評価査定部会)は、内閣総理大臣の認可を受け、刀剣・武具類の評価・査定・買入などの相談を承る活動を行っています。

平成十九年、飯田慶久前理事長の時代に、東京都教育委員会(銃砲刀剣登録審査会)や公益財団法人日本美術刀剣保存協会などに協力を要請し、評価・査定・買入その他商いに関する事業の依頼を受けるようになりました。

査定日には理事が二人態勢で待機し、相続に関する評価や、時には慎重に価格を精査し買い取りも

行っています。依頼者によっては組合に来所されたり、自宅訪問を希望されたり、また事務局に郵送される場合もあります。

買い取った商品は、毎月十七日に開催される組合交換会に成り行き品として出品されています(事前通知)。今年度は、査定評価十一件、買取は十件の依頼があり、その中には裁判所からの査定評価

や、警察庁(県警)からの査定評価および入札依頼がありました。前記した通り、今後も内閣総理大臣認可組合の立場を生かし、またそれにふさわしい評価・査定などの活動を行っていきたく思います。

なお、相談の日程、予約などは左表の要領で行っております。(清水儀孝)

日 時	・ 5日(祝日または土曜、日曜日の場合は翌日) ・ 15日(祝日または土曜、日曜日の場合は翌日) ・ 第3土曜日(5月と10月のみ第3日曜日となります) 上記の毎月3回承っています
時 間	午後2:00~4:00
料 金	評価・査定のみの方は、有料となります(査定評価書発行)。売却される方は、無料です。
予約方法	刀剣類に「銃砲刀剣類登録証」が必ず付随していることを確認の上、電話にて予約受付しています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。 ☎ 03-3205-0601 FAX 03-3205-0089

「登録証問題」を考える①

登録証問題研究会

銃砲刀剣類登録証は昭和二十五年に施行された銃砲刀剣所持等取締令に基づき、翌年の登録審査から発行されているものです。

組合では制度の趣旨に鑑み、譲与や相続に伴う所有者名義の変更の必要性を広く呼びかけてきました。その結果、従来はなおざりにされがちだった名義変更が、今日では当然のこととして履行されるようになりました。

反面、このことに伴う問題も散見されています。自己の責任ではないにもかかわらず、解決の困難な場合もあると言われます。

こんなとき、どうしたらいいのか。関係機関や刀に関わるすべての方々が知恵を出し合い、解決の方向を見つけるために、具体的な事例を集めてご紹介します。

事例①

〔経緯〕一カ月前の登録審査会で発行した登録証に真年紀の記載がないことを発見し、電話にてその

旨を伝えたと、次回の登録審査会に現物の刀と登録証を持参するように言われました。

持参して登録審査員に見せたところ、「登録証の筆跡は〇〇先生だから、書き替えてくれるでしょう」と言われましたが、事務局の方で否決されました。理由は「合

わせ登録証の可能性があるので、全国照会してから答を出す」とのことでした。

事例②

日刀保岡山県支部が奉納刀研磨プロジェクトを始動

日本美術刀剣保存協会岡山支部(小池哲支部長)は、県内の神社仏閣に奉納されながら、さびついた状態で保管されている刀剣を

を立ち上げた。三月六日、備前長船刀剣博物館(瀬戸内市)で説明会と日本刀の鑑賞会を開催し、スタートを切った。

奉納刀は、かつて戦勝や子孫繁栄などを願い、地域の有力者らが

に、高岡神社(真庭市)の大太刀(同市重文)。

費用は研磨、拵の修理、収納用桐箱製作などで約百万円を見込む。半額は支部で負担するが、六月まで通常の募金に加え、インターネットで寄付を集めるクラウドファンディングも行い、資金をつくる。結果次第では、プロジェクトが発展的に継続する可能性もある。

一口の寄付額は三千円からで、金額ごとの特典がある。

なお、説明会・鑑賞会は三月二十七日、四月二十四日にも開催する。研磨し終えた大太刀は今秋、長船刀剣博物館で公開し、その後は県立博物館(岡山市)に寄託し、保管してもらう。

問い合わせ先 ☎090-1135-0778(小池) <https://readyfor.jp/projects/hounoutou>



備前中国水田住大月八良左衛門尉源國重/寛永十八年五月吉日
備前水田住次左衛門尉國重為〇氏作之 刃長三尺五寸

手違いなのに非を認めず、時間をかけるのはいかなるものでしょうか。

登録証はその後、手数料を支払い再発行してもらいました。

「対応」帰ってきた社員に、「どこが違っていたの」と聞いたところ、「こんなですよ」と困った顔をしています。新しく発行された証書を見たところ、アレコレと感じ

場は時間までに着くために、前日から刀を自宅に持ち帰ってもらいました。会場までの移動時間、待ち時間、帰りの時間、合わせる半日では済みません。その間仕事はできませんから、経営者から言わせてもらうと間違いなく損害が発生しています。

「対応」帰ってきた社員に、「どこが違っていたの」と聞いたところ、「こんなですよ」と困った顔をしています。新しく発行された証書を見たところ、アレコレと感じ

下が再発行した登録証



風向計

其之十八

深海 信彦

昨今の資格や検定の種類は、容易に覚えきれないほどにバラエティーに富んでいる。今日、何をやるにも、その人がその道に精通している者でないと安心して全手を託すことはできないが、資格認定や検定がなかった時代はその人の経験や実績、年齢や人柄の評判を頼って物事を委ねたことであらう。

医師や弁護士、教師などが国家資格であることは誰でも知っているが、柔道整復師やあんま、マッサージ指圧師、マシオン管理士、ピアノ調律技能士、レストランサービス技能士、水先人、クリーニング師となると、どれほどの人が国家資格であることを知っているだろうか。

この国家資格には、弁護士などの資格習得が業務遂行のための必須条件となっている「業務独占資格」や、中小企業診断士等の資格を持つ者だけが名乗ることを認められている「名称独占資格」、宅地建物取引主任者(宅建)のように特定の事業を行う際に法律で義務づけられている「設置義務資格」等がある。

この国家資格とは別に、民間資格や民間検定はその何十倍もあり、ほとんど何を行うにもその取得した資格を名乗って業務を行っているのが現状であろう。このような民間資格が急増した背景には、何の専門知識も持たない人が勝手に人の健康や

財産に影響を及ぼすことを事業とし、良くない結果を招く例が多いことから、それを未然に防ぐという社会の需要からであろう。

しかし果たして、民間資格の取得者が全員その道のプロ級の能力を備えているかは疑問であり、中には立派な名称はついてはいるが内容は乏しく、営利事業として国家資格に紛らわしい名称の資格や検定の証明書を乱発している団体もあると聞く。

一方、あらゆる情報がネット上に氾濫し、職業も多様化した現代においては、相手の信用を推し量るすべはなく、このような資格抜きには多くのビジネスが円滑に行かない状況になっていることも否めない事実であろう。

各種の資格に価値の有無を判断するのは利用者であり、専門的なことに関して知識の浅い利用者には、まず相手が有資格者か否かを判断するのであろう。銀座四丁目交差点に立つ僧衣に編み笠で経を唱えている者の胸にも「托鉢修行僧証」の名札が付けられている。物乞い乞食の類ではないという証明がなければ道行く人は施しをしないということであろうか。

また、犬の躰は犬訓練士、子供を託すのはベビーシッター資格試験合格者、身の上相談はメンタルケア心理士、鍵は鍵士、樹木の相談は樹木医等のほか、国家資格かと思わせる名称

の競売不動産取扱主任者、建築設備士、介護食士、医療保険士など、民間資格は数え切れないほどあり、むしろ、何の資格もなく業務を行っている職種は少数派になりつつあると言い得よう。

さて、翻ってわが業界を見てみると、美術的・骨董的・文化的に価値が高い刀剣や申胄を扱っている刀剣商には資格というものがない、本人の信用だけが唯一のセールスポイントである。もちろん、刀剣商は全員が国家公安委員会から古物商許可証を交付されているが、これは商売をするための許可証であり、一定の能力を認められて交付される資格とは異なる。この点、同じ銃刀法の制約を受ける猟銃所持者が狩猟免許という国家資格を持つのと対照的である。

現在のよう資格社会となると、刀剣を売る資格、買う資格、評価・鑑定する資格を問われかねない時代がすぐにもやって来るかもしれない。遺産相続や売却処分の際には、不動産鑑定士の信用イメージに類似の遺品鑑定士、相続刀剣査定士の民間称号を有する者にしか売却できないと一般に誤認されたりどうなるであろうか。刀剣一級販売士、刀剣管理士の称号を有する者から刀を買うのが正しい購入方法だと宣伝されたら、どうするであろうか。

正真正の刀を適正価格で販売しさえすれば、あるいは、先代からの手堅い営業方法を墨守してさえいればという良品至上主義・伝統尊重主義は、シャープ

やせこうデパートの例を取るまでもなく、それだけでは通用しない時代になってきている。明治・大正・昭和以来の長い信用と実績に基づく刀剣業界の自信が、資格社会の到来によって大きく揺らぐ事態になりかねない。

このような刀剣業界の現状を鑑みるに、わが刀剣商組合が手を叩くばかりでは怠慢の誇りを免れない。従来は業界全体の問題に対して、その未来を考えて立ち上がる人も機関もなかったが、今は刀剣界にも人材・人物があり、どのように対処したら良いのかの方策もある。刀剣界の大多数の支持・支援があれば、こうした問題に対して明日にも行動を始める準備も整えられるであろう。

われわれ組合の最大の拠り所は国家の認可の組合であるということである。国の認可を得ることは何においても困難であり、また、それを維持継続していくにはそれ以上の努力を必要とする。その困難の中にこそ一定の権威があり、利点があり、価値がある。一般の人が資格を重視するならば、われわれはそれを逆風ととらえず好機ととらえたい。何となれば、国家認可の組合が認定する資格は重い。

事業協同組合設立の正味の目的は二つあり、一つは金融事業、もう一つは検定事業である。国は容易には金融・検定をやらせたくはないからこそ、設立認可にも慎重なのであろう。われわれは設立以来、あたら与えられた特典を活かすことなく今日まで経てきたが、今こそ時

代に即した事業を立ち上げ、未来の刀剣界にその財産を引き継がせるべきであらう。いつまでも昭和の時代の刀屋をやっているべきではない。刀を売る人も買う人も平成の現代の人である以上、われわれも現代の社会が求める刀剣人であらねばならない。そのためには安心して刀剣の売却や購入の相談が出来る資格を備える必要がある。

もちろん、組合員全員が有資格者であることを目指し、刀剣鑑定・銃刀法・古物営業法の知識を備えたスペシャリストの認定である。

国家資格における「名称独占資格」に準じた組合検定こそ、安心して刀剣等の売買を委ねることの出来る証明として社会に広く周知・認知せしめることが、将来の刀剣界発展に繋がることは必定である。未来のために、今こそ英知を結集して行動に移るべき時ではなからうか。

「当たれば勝ち手加減なし」

始めま 専科

スポーツチャンバラ



少し年配の方なら、チャンバラの楽しさは肌で覚えておられるだろう。けれども空気にささやく「刀」に近づきたくも探すのが難しくなった昨今、神社の境内などの舞台を体育館などに移して、スポーツとして復活させたのがスポーツチャンバラだ。

●用具は…
面は1万1880円から、短刀、小太刀が9504円から、長剣は1万1880円、長槍が2万6568円、杖2万1708円、棒が3万564円(いずれも税込み)。「スポーツチャンバラ教本」が1000円(同)。指導者や協会本部のウェブサイトから購入できる。
★段・級位、称号 1級から10級、初段から10段までである。5段までは実技などの試験による。6段以上は本部審査。さらに高段者には審査により錬士、教士、範士の称号が与えられる。
★日本スポーツチャンバラ協会 横浜市中区長者町2の5の4、☎045・664・7198。各地の教室、サークルなどは各地区の連絡協議会で紹介してもらえらる。

短刀と小太刀で対戦する子どもたち。空気が入りの柔らかい剣なので思いっきり振り回せる=日本スポーツチャンバラ協会提供

「当たれば勝ち手加減なし」

さらには30人対30人の合戦も。何とも楽しめたが、「誰が切られたか審判にも分からないのでは」と尋ねると、「公式の試合では審判が判定しますが、もともとこのスポーツに審判は必要ない」と思っています。打たれたことを認めるのが基本です。それが他を認めるといってつながると思っています。と田邊さん。「剣自体が空気を入れた柔らかいエアークラウドで、思いっきり振り回せます。手加減なしで相手をぶつけて倒れる。これに勝つストレス解消はないですよ。シニアの参加も増えてます」という。試合では年齢、性別による区別はない。大柄な外国人男性と日本の小柄な女性が対戦する。それでも勝負の行方は分からない。これが醍醐味で、だからこそ外国にも広まり、世界選手権も開催できるようになったと思っています」と田邊さん。いかがですか。

【東京新聞】平成28年2月25日

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 **飯田高遠堂**
代表取締役 飯田慶久
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本
松本 富夫 義行
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122
FAX 04-7122-1950
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株)日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**
〒104-0061 東京都中央区銀座 4-3-11
松崎煎餅ビル 4階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3563-2551
FAX 03-3563-2553
フリーダイヤル 0120-402037
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 **090-8845-2222**
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川 7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀 剣 界

私が出会った珍品・逸品

嶋田伸夫

刀 銘 圓龍齋立花園秀鍛之 嘉永六廿歳八月宮和田平光胤為子孫設之

刃長二尺八寸 反り七分

幕末期、幕府は諸外国の圧力から鎖国政策に行き詰まり、動乱期を迎えます。

幕府の権威が弱体化した嘉永六年(一八五三)四月ごろ、土佐から江戸へ坂本龍馬が剣術の修行にやってくる。その二カ月後、ペリー率いる黒船の艦隊が浦賀に来航。土佐藩の砲台に臨時兵として召集され、そこで黒船を真実に見た龍馬の人生の歯車は加速していきます。

翌嘉永七年六月、土佐に帰国する際、龍馬は円龍子国秀に製作依頼していた刀を受け取っています。二尺六寸六分と長寸で「相州鎌倉住国秀作 嘉永七年八月日」と銘があり、現在、高知県立歴史民俗資料館に寄託されている刀です。

龍馬が剣術の修行に通っていた千葉周作とその弟定吉の道場は、門下生三千人とも言われており、その高弟の中には上州安中藩士もいました。

円龍子国秀も一時期、安中藩の御抱士であったことから、千葉道場と刀工国秀の間に何らかの関係がうかがえ、龍馬が作刀を依頼した縁に結ばれるのではないかと想像しています。

ここに挙げた嘉永六年紀の円龍子国秀の刀は、まさにペリーが来航した時期で、龍馬が江戸に滞在していたときに製作されたものです。円龍子の「子」を「斎」として珍しい銘で、師である一貫斎義弘の一字を使用しているところが

ら、よほどの注文であったことがうかがえます。

この刀の願主の宮和田平光胤は茨城県宮和田村(現取手市)の代々名主や本陣を務めた家の当主で、古くは桓武平氏から分かれた千葉氏の血筋を引いています。

光胤も千葉周作の道場に通い、北辰一刀流の免許皆伝を受けた剣客です。下総浪十組(新選組の前身)結成の際も活躍しています。

千葉周作も、文字通り千葉氏の子孫で、同じ桓武平氏の血筋を引くことから千葉道場に入門したのではないのでしょうか。また光胤は、平田派国学(復古神道)を究め、生涯その思想を変えておらず、勤王家で水戸学(勤皇の儒学)の信奉者でもありました。

長男の胤影が専王攘夷運動のために上

京することを許し、息子たちの国事運動を支援しています。この胤影は京都・等持院の足利幕府三代の將軍(尊氏・義詮・義満)の木像の首と位牌を、賀茂川の河原に晒したために捕らわれた一人です(足利氏木像暴首事件)。この事件に関わった者は皆、平田派国学の門人でした。

次男の宮和田進は、大村益次郎(日本陸軍の創始者)を暗殺した一人で、その際に負傷し逃亡を途中で断念し、同志に頼んで首を刎ねてもらいます。

龍馬が国秀に作刀を依頼したころ、宮和田平光胤の二尺八寸の佩刀は既に仕上がっています。同じ千葉一門であることから両人は面識があり、光胤の刀を見て龍馬が国秀に「是非に」と注文した可能性も拭きません。

二月十三日に東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室のフォーラムに行ってきました。テーマは「キャラクター考『刀剣男子』の魅せるもの」に参加して

東大大学院文化資源学フォーラム

「キャラクター考『刀剣男子』の魅せるもの」に参加して

二月十三日に東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室のフォーラムに行ってきました。テーマは「キャラクター考『刀剣男子』の魅せるもの」。会場の大教室は、やはり三分の二くらいを若い女性が占めていました。

ゲストの、キャラクター・マーケティング・コンサルティングの専門家陸川和男氏、奈良県立大学観光社会学専門の准教授岡本健先生のお二人が講演され、ゼミ生による学生発表とパネルディスカッションがありました。

ディスカッションは、文化資源学研究室教授木下直之先生が司会をされ、陸川氏、岡本先生、水戸徳川ミュージアム館長徳川真木氏が参加しました。

刀剣と言った、従来は圧倒的に男性ばかりの世界でしたが、「刀剣乱舞」によって状況は激変しました。このゲームに出てくる「刀剣男士」を媒介として、単なるゲームのファンではなく、刀剣を実際に見に行く、流派・刀工のみならずその歴代の所有者、歴史的背景など深く調べる、などの行動を伴って、刀剣ブームを巻き起こしているのです。

研究室が実施した五千件に及ぶ「刀剣乱舞」のユーザーに対するアンケートによると、日本刀に対する関心は九割の人が高まったと回答しており、実際に刀剣を見に行ったことのある人は六割近くに達しているというところで、ゲームユーザーが百五十万人とすると、美術館の刀剣コーナーが大盛況なのも理解できます。

本紙前号で猿丸の復元が紹介されましたが、徳川ミュージアムでも、関東大震災で罹災した「兎手



芦沢さん父子とご一緒に



千葉県市川 編

今日の俺の行く先は千葉県市川市真間。走っている道は感前橋通り。震災・大戦で昔多くの人がこの地で命を落としたという。海抜が低いため、川を渡るときだけ道の起伏があり、それ以外はまっ平らだ。

こういう地理の自転車ロードレースは、全くの平地より平均速度が高くなる。北の地獄と呼ばれるパリ、ルーベというレースは、それに石畳の地区を加え、選手は痛めつけられていく。俺の記憶が正しければ、八八年そのレースを制し、ツール・ド・フランス内定を決め、表彰台で長身を震わせ男泣きをしたのは、ベルギーのエドウィ

今日はそのエピソードを思い出しながら江戸川を越え、静心堂の芦沢さん一家の家へと向かった。

閑静な住宅街の中にある静心堂は、住居兼店舗と言うよりは応接間兼書斎。実は北は盛岡、西は広島までの百貨店のイベント会場や画廊を巡るのが芦沢一幸・淳父子の営業だ。即売会が主だが、それだけではなく出向いた先の百貨店の外商さんが動き、持ってきてくれる買い取りの話などがあるといううらやましい話だが、それも真面目さの積み重ねがあるからだ。また百貨店の性質上、品質・相場に卓越した「うまさ型」以外のお客さんも多く、それゆえに美味みがあるそうだ。

最近では運送業者に商品を任せ自分たちは楽に新幹線で移動する

ことも多いのだが、それでも一週間に二週間の期間、息継ぎ暇もないくらい動くのでキツイと言

う。しかし、それが月一回強のペースだと、残りの日々がもったいないと感じる向きもある。

文頭のホイードンク選手、実は休日を多く取り入れる練習や今や当たり前のインターバル練習という独自のメニューを取り入れることにより、仲間たちからは「日曜日にしか練習しない奴」と陰口を叩かれた。表彰台の涙の訳は、自分が正しかったことを証明できたからにはかならない。

東京の昭和記念公園のレースでは、彼を含む欧州選手の先頭数名に日本人選手が食らいつくが、すぐに彼方へと千切り去った。

そう言えば、覚えておいてほしい現役日本人選手がいる。東京大学自転車競技部OBの西園良太氏

だ。八七年生まれのまさに文武両道の若者が大学院生時代に残した次の言葉に、俺は感動した。

「プロの選手を散文の作家に例えるなら、私たち学生選手は韻文の作家であろう。優れた韻文が人の心をつよように、短い練習時間を有効に使う学生選手の走りは決して貶められるものではない」と。

現在、ツール・ド・フランスを完走した日本人は二名。三人目に最も近い選手の一人だ。

静心堂の書斎の書籍の配置は、非常に実践的、かつ合理的だ。ここで静かに策を練る芦沢一幸・淳父子はその時間こそが大切だと俺に教えてくれた。

で、俺か? 昼食の後、刀剣の書籍を開く。五分で居眠りが出る。ダメだ、こりゃ。ライス大盛りはやめておいた方がいいな。

(網取譲)

〒372-1081 群馬県伊勢崎市連取町一八三六一 TEL 〇二七〇一六二七七八 FAX 〇二七〇一六二七八

代表 紀伊国屋 松浦孝子

刀剣・宝飾品・高級腕時計・ダイヤ

代表 田中勝憲

古銭・切手・刀剣 売買 評価鑑定

江州屋刀剣店 小暮昇一

滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1 TEL 0749-4215106 FAX 0749-4215108 携帯 090-1316217641

『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に1年間無料でお送りしています。組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)

若者広場

山田基洋(三刀流店主)

海外の街で 日本刀をアピールしたい

三刀流の山田と申します。刀剣に携わって十年ぐらいたりますが、皆さまにはまだまだあまり知られていないと思いますので、この場を借りてご挨拶させていただきます。

初対面の方から職業を聞かれて「刀剣商です」と答えると、不審な表情をされたり「危ない仕事なのでは?」という反応をされたり



三刀流の山田基洋さん

することがよくあります。今は日常生活の中で日本刀が縁遠いもので、当然なのかもしれませんが、私は刀をもっと世に広めたいと思っています。その一環として年二回、松本義行さんと沖繩県で日本刀の展示即売会を行っています。

足を運んでくださるお客さまも増えてきました。私は海外旅行が好きで、年間八回くらい行きます。中でもタイによく行っています。タイには世界中から外国人が訪れます。タイの首都バンコクはかなりの経済が発展し、ビルや商業施設が建ち並んできています。バンコクの街を歩いていると、さまざま国籍の人たちと出会うので何かと面白いです。私はこの

街で刀の商売ができれば、いろいろな国の人たちに日本刀の素晴らしさを伝えられると思う、いつか展示会をしたいと考えています(登録証の問題とかいろいろあるので、難しいと思いますが...)。私は横浜で生まれ、横浜で育ちました。今年二月に地元横浜に小さいながらもお店をオープンしました。これからも商売に励んでいきたいと思っております。よろしくお願ひします。

刀剣商リレー訪問(番外編) 有限会社勝武堂 母子で建てた新店舗開店を祝う

平成二十八年一月十五日、東京・中野区にある美術刀剣店、勝武堂が新装開店した。同店は大正末年、初代店主大平鐵一氏が麻布区霞町にて「大平勝光堂」の名で商いを始め、戦後は現在の中野区にて再出発し、九十年以上の長きにわたって続いてきた老舗である。

譲りの堅実な商いを続けられ、ついに新店舗を構えるに至ったことは、業界にとっても慶事である。息子の将広氏もよく母を支え、今では全国刀剣商業協同組合の各種活動や交換会などで役職を担い、熱心に活躍されていることは、皆さまもよく知るところである。次代を担う逸材として、今後の活躍がますます期待される。新店舗でのますますのご発展とご活躍をお祈りします。

の老朽化が激しく、いずれは建て替えの必要な建物でした。新築は亡き主人や主人の母の長年の夢であり、その遺志を継ぐことができたことは、本当に皆さまのご指導とご助力のおかげと、感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも末永く指導ご愛顧のほど、よろしくお願ひいたします。



新店舗の前にて大平さん母子



武道は日本の伝統文化 武道を通して地域に貢献する

山本吉男さん(号・影舟)

山本さんは昭和十九年、栃木県佐野市に生まれ、同六十年、四十一歳のときに神影流二十五代宗家豊島一虎師に入門、剣道・居合道を修行し、以来この道一筋に歩んでこられました。神影流教士七段、神心無想流教士七段。平成六年、神影流一門佐野武道会を設立し会長に就任。稽古は佐野市武道館・佐野小学校体育館・福祉コミュニティセンターで週三日開いています。豊島師の指導方針「武道を通して地



岡山刀剣クラブ会員の皆さん

相互扶助精神で和気あいあい

交換会紹介 岡山刀剣クラブ

岡山刀剣クラブは、JR岡山駅近くのシティーホテル別館で毎月十九日に開催しています。発足は、今から約三十年前に日本の刀剣界を牽引された故三木義和氏によります。会の名称は、「山陽会」「岡山会」と変更の後、平成十八年に「岡山刀剣クラブ」と改名され、現在に至っています。「刀剣商同士が相互扶助精神の下、円滑な取引を」と同氏が重視されていたスピリッツは、会員の皆さまのご協力に支えられ、継承されています。現在会員数は約二十名と決して多くはありませんが、アットホームな雰囲気です。

気あいあいと、いつも楽しく取引をしてくださることが当会の何よりの喜びです。取引形態は、昨年度から現金取引を主体に、売主の希望により延べ払いも可能としており、ご要望に適切対応しています。また、ユニークなのが、旧来の会場様式を刷新して、机と椅子の西洋スタイルを採用したことです。これにより、参加者の動作の負担が軽減され、好評を呼んでいます。会長は岡山市の福徳美術の宮本佳幸氏。運営責任者は私、佐藤均がお役目を頂戴しております。当会へのお問い合わせは随時受け付けています。(佐藤均)

域社会に貢献しよう」をモットーに、高齢者施設・デイサービスセンター・特別支援施設などへ演武会の慰問活動を続けられており、大変喜ばれています。平成二十五年にはオーストラリア支部をブリスベン市に設立、現在、指導者三名、門下生十三名が修行に励んでいます。「日本の伝統文化の武道」の体験・見学はいつでもOKです。(瀬下昌彦)

有限会社勝武堂 1164-0012 東京都中野区本町四十四番一〇〇三 三三八一三〇七一

アオバ企画株 高橋一

〒130-0012 墨田区大平四一九二一三〇八
TEL 〇三三六二二二二二
FAX 〇三三六二二二二二
メール aobakk@pjs-so-net.ne.jp

組合こよみ
(平成28年1~2月)

1月8日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第27号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・網取理事・松本理事・持田理事・大西芳生氏・木村隆志氏・土子民夫氏

17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加43名、出来高7,692,500円

17日 東京美術倶楽部にて理事会を開催。出席者、深海理事長・猿田副理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・飯田理事・佐藤理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・土肥理事・吉井理事・木村監事

17日 東京美術倶楽部会場で『刀剣界』第28号編集委員会を開催(企画)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・生野理事・網取理事・服部一隆氏・土子氏

2月3日 銀座長州屋にて全国中小企業団体中央会の機関紙『中小企業と組合』の取材を受ける。出席者、深海理事長・清水専務理事・嶋田理事

17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加49名、出来高10,725,500円

17日 東京美術倶楽部にて理事会を開催。出席者、深海理事長・猿田副理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・飯田理事・佐藤理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・土肥理事・松本理事・持田理事・吉井理事・木村監事

17日 東京美術倶楽部会場で『刀剣界』第28号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・冥賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤荻理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・松本理事・持田理事・木村氏・土肥高康氏・土子氏

刀 剣 界

ブック・レビュー BOOK REVIEW

井伊家の受難を救った激動の人生

『剣と紅―戦国の女領主・井伊直虎』

高殿円 文春文庫 定価(八二〇円+税)

昨年の大河ドラマは「花燃ゆ」でした。これにちなんだ大

それから鎌倉・南北朝・室町と時

潭寺・南溪和尚の計らいで次郎法

今年大河ドラマは「真田丸」ですが、リアルタイムにそ

直親も命を賭したために信州に

例えは、井伊家二十代直平の娘

彦根の井伊家と言えは、五

は直盛の養子となるが、出家した

善財一さんが「何かお探しの刀

井伊家は平安期、蔵人藤原冬

永禄五年、二十三代直親も謀殺

次に英国人の刀剣研究家ポール



『美の壺』のレギュラー・コメ

「美の壺」のレギュラー・コメ

薬師寺 630-8563 奈良市西ノ京町457

薬師寺大宝蔵殿 特別開扉「仏教と刀」

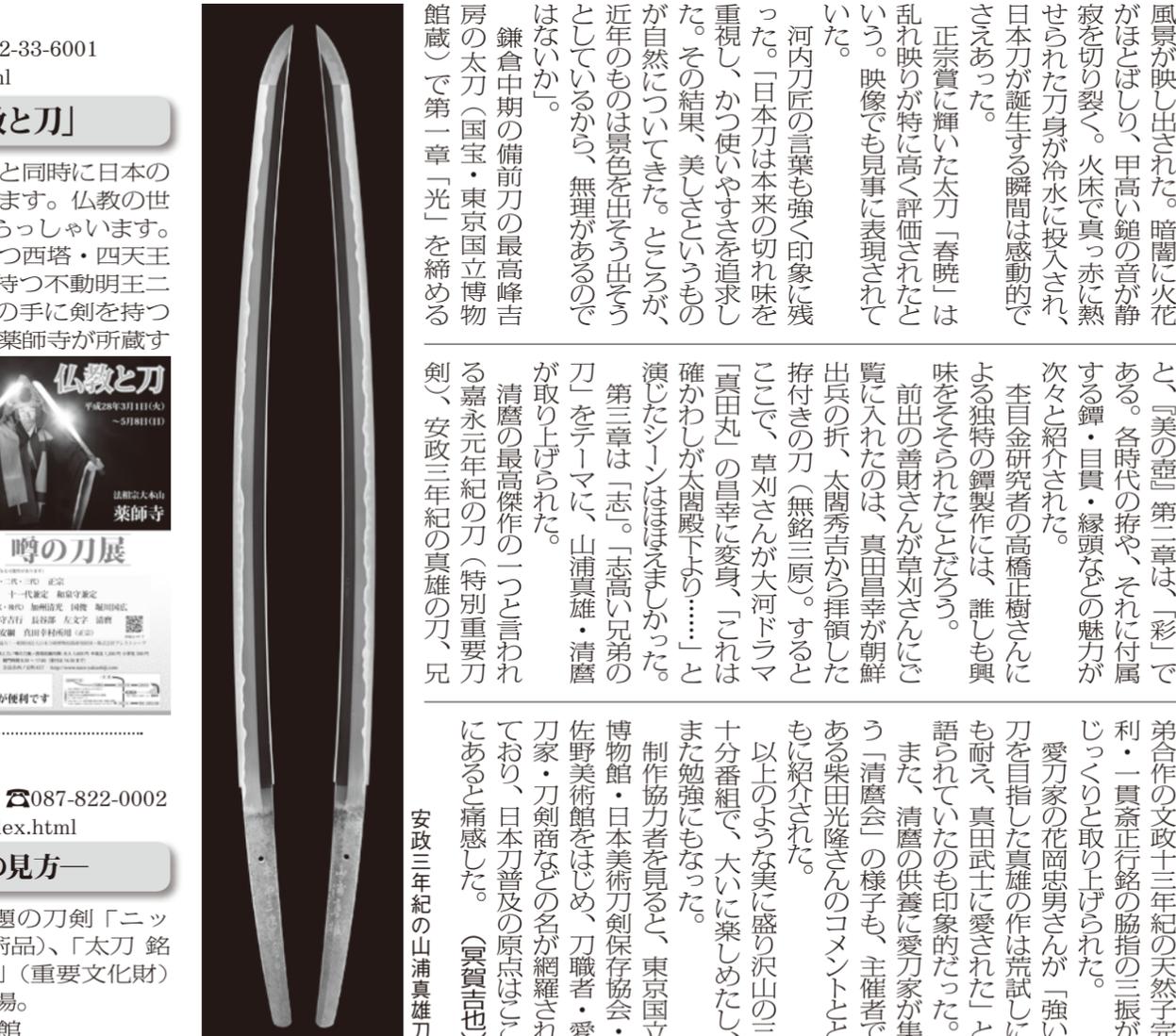
刀剣は古来より武器として用いられると同時に日本の

では、平和を説く仏様が武器を持つのはなぜでしょうか。

香川県立ミュージアム 760-0030 香川県高松市玉藻町5-5

KATANA 一刀を楽しむ3つの見方

平成28年度最初の常設展示では、話題の刀剣「ニッカリ青江」



NHK『美の壺』の「千年の光 日本刀」を見て

NHKの人気番組『美の壺』で

風景が映し出された。暗闇に火花

と、『美の壺』第二章は、「彩」で

弟合作の文政十三年紀の天然子完

「美の壺」のレギュラー・コメ

河内刀匠の言葉も強く印象に残

以上のような美に盛り沢山の三

「美の壺」のレギュラー・コメ

清麿の最高傑作の一つと言われ

制作協力者を見ると、東京国立

「美の壺」のレギュラー・コメ

安政三年紀の山浦真雄刀

安政三年紀の山浦真雄刀

NEWS & TOPICS

北野天満宮で「髭切」などの御神刀を公開

北野天満宮(京都府京都市上京区)の宝物殿で一月二十三日から三月十三日まで、特別公開「学問の神・驚きの宝刀展」が開催され、大きな話題を呼んだ。北野天満宮は御神刀約八十振を所蔵するが、その半数に及ぶ四十振を展示、そのほとんどが初公開で、刀剣と武具だけの特別展も初めての試みとなった。「刀剣乱舞」のヒットにより、若い女性を中心に日本刀への関心が高まっているが、キャラクターの一人である「髭切」のモデルとなった刀剣を所蔵する北野天満宮への問い合わせも多く寄せられたことから、今回の開催に至ったという。会場には、「審神者」とおぼしき女性の姿も多く見られた。「髭切」の別号を持つ「鬼切丸」のほか、恒次・助守・師光・国広の重要文化財五振も展示。刀身や外装に加えて、奉納者の記名や凝った装飾が施された木箱も添えられ、歴史資料としても見ごたえのある内容になっていた。



「刀剣乱舞」のヒットにより、若い女性を中心に日本刀への関心が高まっているが、キャラクターの一人である「髭切」のモデルとなった刀剣を所蔵する北野天満宮への問い合わせも多く寄せられたことから、今回の開催に至ったという。会場には、「審神者」とおぼしき女性の姿も多く見られた。「髭切」の別号を持つ「鬼切丸」のほか、恒次・助守・師光・国広の重要文化財五振も展示。刀身や外装に加えて、奉納者の記名や凝った装飾が施された木箱も添えられ、歴史資料としても見ごたえのある内容になっていた。

NEWS & TOPICS

足利市立美術館と古民家スタジオにも刀剣女子

堀川国広が足利学校で作刀した脇指(重要美術品)が、栃木県足利市立美術館で一月三十日から二月十四日まで特別展示され、殺到する「刀剣女子」が市民を驚かせた。市教育委員会の担当者は「若い女性が殺到するのは九四年の開館以来初めて」と、うれしい悲鳴を上げていた。「刀剣乱舞」のサービスが昨年一月に始まると、美男子のキャラクター「山姥切国広」のファンが足利学校を訪れたり、問い合わせが来たりするようになった。熱い声に応えようと、学校事務所は同六月から脇指のレプリカの展示を始めたが、「本物を見たい」という要望も多かった。これに応えようと、市立美術館で脇指の特別展示が始まることを一月に始まると、美男子のキャラクター「山姥切国広」のファンが足利学校を訪れたり、問い合わせが来たりするようになった。熱い声に応えようと、学校事務所は同六月から脇指のレプリカの展示を始めたが、「本物を見たい」という要望も多かった。これに応えようと、市立美術館で脇指の特別展示が始まることを

NEWS & TOPICS

福岡市博物館では記録を更新

福岡市博物館で展示された国宝の刀、名物「庄切長谷部」があらためて話題になっている。天正三年(一五七五)、黒田官兵衛(如水)がまだ播磨の豪族小寺政職に仕えていたころ、岐阜城の織田信長を訪れ、中国攻めを進言した際に与えられたもの。手討ちにしようとした茶坊主が台所の膳棚に隠れた際、信長が刀を振り下ろさず難なく「庄切」切ったのが、名前の由来とされる。一月五日から三十一日までの



福岡市博物館で展示された国宝の刀、名物「庄切長谷部」があらためて話題になっている。天正三年(一五七五)、黒田官兵衛(如水)がまだ播磨の豪族小寺政職に仕えていたころ、岐阜城の織田信長を訪れ、中国攻めを進言した際に与えられたもの。手討ちにしようとした茶坊主が台所の膳棚に隠れた際、信長が刀を振り下ろさず難なく「庄切」切ったのが、名前の由来とされる。一月五日から三十一日までの

NEWS & TOPICS

舞草刀研究会の鑑賞会は過去最高の盛況

舞草刀研究会(中鉢弘会長)では新春名刀鑑賞会を一月三十一日、岩手県一関市大手町の一関文化センターで開催した。県内外から約六十人が参加し、実際に手に取って日本刀の魅力を堪能した。同研究会は舞草刀の研究で知られ、会誌も発行するが、併せて郷土の刀を広く鑑賞する機会を持つと、毎年開催している。昨今のブームもあり、「刀剣女子」と呼ばれる若い女性を含む多数の愛好者が参加した。会場には東北の刀を中心に、平安末期や鎌倉、江戸時代などに作られた十五振を展示。参加者は一礼をして刀を手に取り、角度を交えて光にかざしながら刃文や地肌をじっくりと観察した。作刀年代や刀工の名前を当てる鑑定クイズも実施。参加者は目を凝らしてそれぞれの刀の特徴を捉え、真剣な表情で解答用紙に記入していた。持参した刀の手入れコーナーもあり、参加者の注目を集めていた。中鉢会長は「過去最多の人数が参加してくれた。一過性のブームとしてではなく、本格的に刀を勉強しようという若い人もいるので、そのような人を増やしていければ」と話している。

水戸の梅まつり × 徳川ミュージアム × 刀剣乱舞-ONLINE-

徳川ミュージアムにて展示中の「刀 燭台切光忠」、人気PCブラウザオンラインゲーム『刀剣乱舞-ONLINE-』のキャラクター「刀剣男子 燭台切光忠」と「第120回記念水戸の梅まつり」がコラボレーション。3月30日までの期間中、次のイベントをはじめ、さまざまな企画が予定されている

- ①コラボ企画第1弾! 「水戸の武」 周遊イベント
偕楽園内の観梅本部において、期間中の対象施設の入場券を2枚提示すると「梅まつり限定 燭台切光忠ポストカード」1点プレゼント。3枚であれば2点プレゼント。対象施設は徳川ミュージアム・茨城県立歴史館・常磐神社義烈館・弘道館。
- ②コラボ企画第2弾! こんのすけ in みとちゃんお誕生日会
『刀剣乱舞-ONLINE-』のナビゲーションキャラ「こんのすけ」が、水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」のお誕生日会に登場。
- ③コラボ企画第3弾! 梅まつり限定 燭台切光忠クリアファイル発売
1部400円。1人2部まで。偕楽園見晴亭にて。
- ④燭台切光忠と刀剣男子の等身大パネルが徳川ミュージアムにて展示中
- ⑤関連グッズ「梅香 百年梅酒 燭台切光忠」発売
定価1,000円。収益の一部は刀剣プロジェクトに寄付される。

なお、徳川ミュージアムによる刀剣プロジェクトの「燭台切」写し制作の刀匠は宮入法廣氏に、「兎手柏」写しは月山貞利氏に決定した。「梅香」はそのサポート商品第1号。



焼刃土を塗る工程も公開

私が刀鍛冶を目指すきっかけになったのも、この精神性が日本人の根底に根づく素晴らしい文化だと思います。今回のイベントを通じ、少しでも多くの方々に日本刀への興味と探求心に応え、また知っていただけるきっかけになってもらえたいことを願います。会場である鉢形城歴史館をはじめ埼玉県刀剣保存協議会、寄居町教育委員会、また協力していただいた関係各位に感謝し、無事盛会に終了できましたことをここに報告いたします。(刀匠・下島房甫)

「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」「埼玉の郷土刀」 昨年十月十日〜十一月二十九日、埼玉県刀剣保存協議会・寄居町教育委員会主催により第五十八回埼玉県名刀展「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」(埼玉の郷土刀)が埼玉県寄居町鉢形城歴史館にて開催されました。 今回の名刀展は「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」とあるように、添銘のある刀剣が中心の展示になっており、通常は見逃してしまいがちな、日本刀がどのような目的や用途から製作されたのかわかる面白いテーマでした。 もともと日本刀は、所持することで病魔や悪い運氣を「魔」から遠ざけ、家族・一族を守り、また武器として使用しないことが最上の美德であります。今回展示されている刀は所持者本人はもちろんです。家族や身内や子孫、恩人にお守り刀の効力を願って製作され贈られたものです。その精神性があるからこそ、日本刀はただの武器としてではなく、先代たちの思いも大事に受け継いでいくという伝統につながっているのだと思います。 展示会場の外では全国剣道連盟会員による「居合・抜刀術実演会」の演武も行われ、演武者を囲うように大勢の見学者がおられる中、演武の度に多くの拍手が沸き上がりました。 今回のイベントを通じ、少しでも多くの方々に日本刀への興味と探求心に応え、また知っていただけるきっかけになってもらえたいことを願います。会場である鉢形城歴史館をはじめ埼玉県刀剣保存協議会、寄居町教育委員会、また協力していただいた関係各位に感謝し、無事盛会に終了できましたことをここに報告いたします。(刀匠・下島房甫)

イベント・レポート

第58回埼玉県名刀展

「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」「埼玉の郷土刀」

昨年十月十日〜十一月二十九日、埼玉県刀剣保存協議会・寄居町教育委員会主催により第五十八回埼玉県名刀展「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」(埼玉の郷土刀)が埼玉県寄居町鉢形城歴史館にて開催されました。 今回の名刀展は「添銘のある日本刀・蔵刀への想い」とあるように、添銘のある刀剣が中心の展示になっており、通常は見逃してしまいがちな、日本刀がどのような目的や用途から製作されたのかわかる面白いテーマでした。 もともと日本刀は、所持することで病魔や悪い運氣を「魔」から遠ざけ、家族・一族を守り、また武器として使用しないことが最上の美德であります。今回展示されている刀は所持者本人はもちろんです。家族や身内や子孫、恩人にお守り刀の効力を願って製作され贈られたものです。その精神性があるからこそ、日本刀はただの武器としてではなく、先代たちの思いも大事に受け継いでいくという伝統につながっているのだと思います。 展示会場の外では全国剣道連盟会員による「居合・抜刀術実演会」の演武も行われ、演武者を囲うように大勢の見学者がおられる中、演武の度に多くの拍手が沸き上がりました。 今回のイベントを通じ、少しでも多くの方々に日本刀への興味と探求心に応え、また知っていただけるきっかけになってもらえたいことを願います。会場である鉢形城歴史館をはじめ埼玉県刀剣保存協議会、寄居町教育委員会、また協力していただいた関係各位に感謝し、無事盛会に終了できましたことをここに報告いたします。(刀匠・下島房甫)

催事情報

■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767
http://www.city.setouchi.lg.jp/token/

特別展「備前刀剣王国」

この度、佐野美術館・刀剣博物館との合同巡回展として「備前刀剣王国」を開催します。

備前国は刀剣の産地として、平安時代後期から室町時代後期までの約400年間に、古備前派・一文字派・長船派の大きな流派の消長がありました。

古備前派は、平安時代後期の源平合戦に生死をかけた武士たちの腰物として用いられ、一文字派は後鳥羽院をめぐる政変の渦に端を発し、刀剣史上最も絢爛豪華な作風を生みました。長船派は文永・弘安の役と呼ばれる蒙古襲来の国難を受けて、大量の需要に大工房をもって応えました。南北朝時代には、朝廷を二分する戦乱が全国に及び、大太刀の様式が生まれました。そして、室町時代後期には、武士のみならず農民まで駆り出される戦乱に、大量の刀が作られ、長船村は鍛冶屋千軒とも言われ盛況を極めました。

名刀は武士の鏡であり、誇りでした。備前の名工たちは武士の誇りを受け、技を競い、刀剣王国を作り上げたのです。

備前には、古備前派・一文字派・

長船派以外にも多くの流派の消長がありました。この度は、大きな流派の三つに絞り、さらにその創造の推進力となった名工を中心に企画しました。また、今回は南北朝時代の長船を脇より支えた小反物に注目し、構成の一杯に組み入れました。

会期：1月29日(金)～3月27日(日)



■江戸東京博物館

〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 ☎03-3626-9974
https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/

2016年NHK大河ドラマ特別展「真田丸」

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」の主人公・真田信繁(幸村)。彼は、「大坂の陣」において、大坂城東南に出丸「真田丸」を築き奮戦した勇将です。

後の信濃国上田城主真田昌幸の次男として生まれた信繁は、織田・北条・徳川・上杉とめまぐるしく主君を変える真田家において、上杉景勝の人質となり、その後豊臣秀吉の人質として暮らしました。慶長5年(1600)の関ヶ原合戦では、父昌幸とともに石田三成が率いる西軍につき、兄信之は徳川家康が率いる東軍につき、真田家は、親子兄弟が東西に分かれて戦いましたが、西軍は敗退。昌幸と信繁は九度山(和歌山県)に幽閉の身となります。

しかし、信繁に転機が訪れます。豊臣家と徳川家による最終決戦「大坂の陣」が起こると、信繁は大坂城へ入城。慶長19年の大坂冬の陣において信繁は、大坂城の東南に真田丸と呼ばれる出丸を築いて徳川方を迎え撃ち、その武名を天下に知らしめます。

翌年の大坂夏の陣では、寡兵ながらも果敢に徳川方を攻め、その奮戦ぶりは家康に死を覚悟させるほどだったと後世に伝えられています。最後は兵力で勝る徳川方に敗れ大坂城は落城、信繁はその生涯を閉じました。

戦国乱世の最後を飾った勇将真田信繁。その活躍は、父昌幸や兄信之とのさまざ

まな逸話とともに、今もなお語り継がれています。

この展覧会では、大河ドラマ「真田丸」と連動し、真田信繁ゆかりの品や歴史資料などの紹介を通じて、信繁の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにしていきます。

会期：4月29日(金・祝)～6月19日(日) 月曜休館

★会期中に展示品の入れ替えあり
巡回展：7月2日(土)～8月21日(土) 上田市立美術館、9月17日(土)～11月6日(日)大阪歴史博物館

特別展「真田丸」の招待券を10組20名様にプレゼントします。申し込みは組合☎03-3205-0601まで。先着順。



短刀 銘国光(小尻通新藤五) 個人蔵



鉄一枚胴具足(伝真田信繁所用) 大坂城天守閣 上田会場にて展示

■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

開館15周年記念特別展「近代大阪職人(アルチザン)図鑑—ものづくりものがたり—」

平成28年は、大阪歴史博物館が開館してから15年となります。その間にも数多くの大阪の職人“アルチザン”の存在や作品が明らかになりました。これらは当館の前身たる大阪市立博物館の40年に大阪歴史博物館での15年を加えた、55年間の調査・収集の積み重ねによるものです。

本展覧会では、これまでの当館活動の中で見いだされた初公開作品を含む「忘れられた大阪の工芸」約170件を展示します。その中には美術か美術でないか、その区分にとられない「博物館」ならではの展示作品も少なくありません。そのような大阪の職人“アルチザン”が残した作品を通じ、大阪の近代工芸の知られざる魅力をご紹介します。

なお、刀剣関係では月山貞一の作品を含む近代刀9口と、加納夏雄の



久邇宮殿下命月山貞一作短刀

試作貨幣や貨幣下絵、廃刀令後の世相を表す資料なども展示されます。

会期：4月29日(金・祝)～6月20日(月) 火曜休館、ただし5月3日(火・休)は開館

記念講演会：「自在置物の魅力」村田理如氏(清水三年坂美術館館長) 5月7日(土)

■広島城

〒730-0011 広島市中区基町21-1 ☎082-221-7512
http://www.rijo-castle.jp/rijo/main.html

企画展「博物館資料の見方～刀剣・甲冑編」

この何年か、世の中は大変な歴史ブームに沸いています。特に「歴女」などという言葉が生まれてきたように、女性や若い方々の歴史ファンの増加には目を見張るものがあり、広島城にもそのような方々がたくさん来られているように見受けられます。ただ、館内に展示してあるさまざまな博物館資料について、どこをどう見たらよいのかなど、とまどっている方も多いのではないのでしょうか。特に刀剣や甲冑などは、博物館資料の中でもハードルが高いと思われるものの代表格でしょう。

今回の展示では当館の所蔵品を材料に、その見方の基本中の基本をご紹介します。

会期：2月13日(土)～4月10日(日) 会期中無休



日本の刀—日本工芸の粋—

奈良・吉野の地で、先祖代々の刀匠の技を紡ぐ現代刀匠の第一人者、河内國平氏の刀剣と、刀剣にまつわる工芸の粋を一堂に紹介します。

会場：日本橋三越本店 本館1階中央ホール

会期：3月16日(水)～22日(火)



中世阿蘇大宮司家と宝刀蛭丸

南北朝時代から戦国時代を中心に活躍した阿蘇大宮司家の当主たちと、阿蘇家の宝刀「蛭丸」をパネルで見ると企画展です。

会期：～6月26日(日)
会場：道の駅通潤橋—熊本県上益城郡山都町下市184-1)

